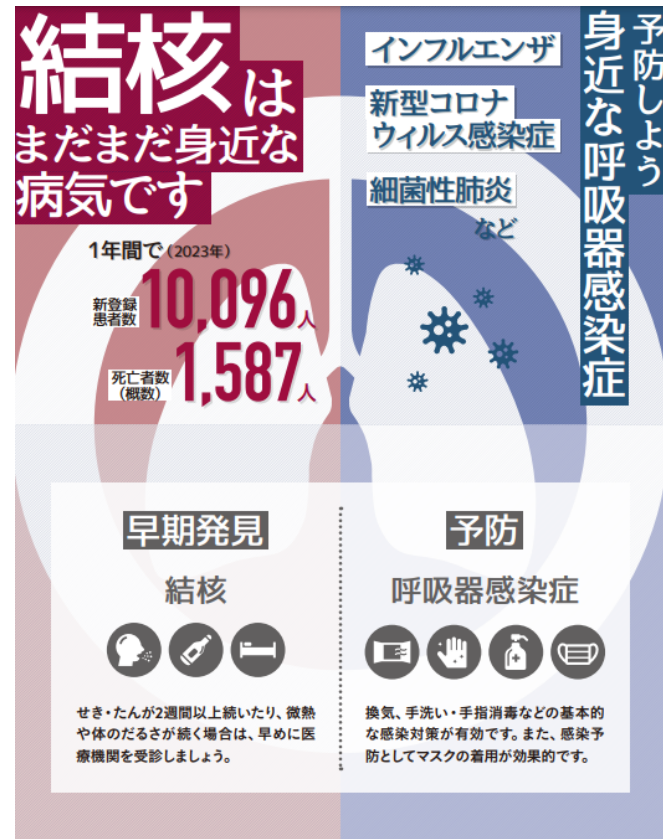


施設における結核対策

茨城県保健医療部 疾病対策課 感染症対策室



正しい診断をより早く

厚生労働省

それって、いつもの風邪ですか？

どうしました？
風邪なんです
...
...

このままでは
いつから、どのような
症状があったかわからない

本当は
痰のからむ咳が
2週間以上続いている

いつもと違うところを医師に伝えましょう
たとえば、このようなことに心当たりはありませんか？

感染症の正しい診断に役立つ情報

☒ 痰のからむ咳が2週間以上続いている
☒ 微熱・身体のだるさが2週間以上続いている

☐ 最近、海外旅行から帰って来た
☐ 身体に淡いポツポツが出て来た
☐ 山遊びでダニに咬まれた跡がある
☐ 海外旅行で何度も蚊に刺された
☐ 耳の後ろのリンパ腺が腫れている感じがする
など

こちらにチェックが入る場合には
結核の可能性あります。

～長引く咳は結核かも～
結核予防週間 9月24日～9月30日
厚生労働省 結核 検査

平成29年9月

結核 茨城県で5年ぶりに集団感染が発生！ 令和6年9月6日 県報道発表

事例の概要

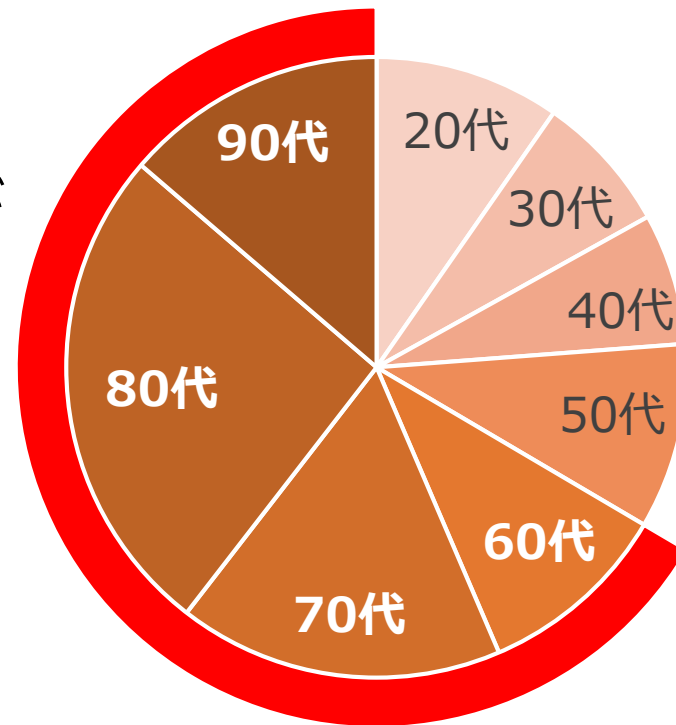
- 入所者約100名の介護老人保健施設で発生
 - 2月下旬に入所者の80代女性（初発患者）が咳などの症状悪化で救急搬送され、結核と診断
 - 初発患者は、睡眠時以外のほとんどの時間を他の入所者と一緒にデイルームで過ごしていた
 - 患者と接触のあった入所者・職員計89名を検査
- 70代から90代の入所者4名
介護士5名・看護師1名が感染していた

高齢者の患者が多いのはなぜ？

- 現在の高齢者が若い頃は結核が流行していた（結核患者数 昭和26年 59万人 令和6年 1万人）
- このため、高齢者は若い頃に結核菌に感染しながら、免疫により発病しないまま過ごしています
- 高齢者では加齢や病気などによって免疫力が衰え、発病するケースが増えています

年代別結核患者（2022年 茨城県 計248人）

患者の67%が
60代以上！



結核 高齢者の結核の早期発見には**職員の気づき**が大切

結核とは

- 結核菌による細菌感染症
- 症状は、咳・痰・発熱などで風邪の症状に似ている
- 症状が出るのは、早くても感染後3ヵ月、遅いと2年で潜伏期間が長い

高齢者は特に注意！

- ✓ 高齢者は免疫力や身体機能低下のため、**咳・痰などの症状が出ないことがある**
- ✓ 咳・痰が2週間以上続いたり、微熱・体のだるさが続く場合、また、**日頃の健康観察で、なんとなく元気がない・食欲不振・体重減少などに気づいたら医療機関受診を！**
- ✓ 早期発見のために年1回の定期健診（胸部X線検査）※実施が重要

※特別養護老人ホームなどの65歳以上の入所者に対しては、感染症法に基づく実施義務があります

管理者の皆様へ

- 定期健診の確実な実施や以下の資料を職員の皆様に周知いただくなど、結核対策の徹底をお願いいたします
(令和6年9月6日付け疾病第1040号・長福第518号通知で依頼)

資料 タイトルをクリックすると資料をご覧いただけます

- [介護職のあなたにこれだけは知って欲しい「結核のこと」](#)
- [高齢者施設・介護職員対象の結核ハンドブック](#)
- [介護現場における感染対策の手引き](#)



高齢者施設・介護職員対象の
結核ハンドブック

(2016年7月)

公益財団法人結核予防会結核研究所
対策支援部保健看護学科編

